

(12) 愛南ブロック (愛南町)

～産地づくり～

主力品目「河内晩柑」を中心としたかんきつ産地の維持・発展を目指し、生産基盤や生産体制の強化を図りつつ、多様化する消費者ニーズに対応した加工品の開発や新たなマーケット開拓など出口を見据えた販売戦略を進め、ブランド力向上に取り組みます。また、水田の有効利用と農業所得の向上を目指し、「ブロッコリー」による長期安定出荷のできる産地づくりや、地域の特色を活かした高収益野菜の振興と定着に取り組みます。

～推進品目や産地づくりの方向～

○「河内晩柑」を核とした果樹産地強化と農産加工へのチャレンジ

1 老木園地の改植や新植による生産基盤強化および省力化と高品質生産による生産体制強化

【取組】

- ①南予地域果樹産地協議会南宇和支部が主体となり、果樹経営支援等対策事業等により植栽を推進
- ②低樹高化実証試験と縮間伐見本園を設置し、省力化を推進

【成果】

- ①「河内晩柑」苗木 1,690本植栽
- ②収穫時間を慣行栽培の77%に短縮（低樹高化実証試験結果から）
- ②縮間伐見本園1か所（14a）を設置

2 大久保山ダム等を水源とするかんがい施設の長寿命化対策や老朽化したため池の改修

【取組】

- ①かんがい施設の長寿命化対策を実施
- ②老朽化したため池の堤体改修を実施

【成果】

- ①幹線水路長寿命化対策：大久保山北部幹線水路の制水弁更新ほか
- ②ため池改修：口目谷池（完了）、山の神池（継続）

3 整備計画のある農産物加工場への安定的な原料供給から加工品の製造及び生果を含めた国内外への販路開拓

【取組】

- ①委託搾汁した「河内晩柑」の果汁や果皮を活用しテスト販売を実施
- ②国内外の販路開拓を推進
- ③県食品産業技術センターと連携し南宇和高校による加工品開発を支援

④「木なり河内晩柑」のPR活動を実施

【成果】

- ①県内精油業者に果皮を販売：23.7t成約
- ①県内加工会社にフラバド（果皮の表面組織）を販売：2t成約
- ①果汁1,351kgを販売
- ②新たに仙台市で販路を開拓：生果900kgを販売
- ②台湾へ輸出：生果300kgを販売
- ②欧州（スイス、ドイツ、フランス）に冷凍果汁、加工商品のサンプルを送付
- ③南宇和高校で、生徒発案による河内晩柑の果汁を使った「グミキャンディ」を開発
- ④局予算事業を活用し「木なり河内晩柑」を『南予の逸品』として選定し、SNSや情報誌等でPR

4 ポスト「甘夏」対策としての「レモン」や県オリジナル品種の導入

【取組】

- ・南予地域果樹産地協議会南宇和支部が主体となり、果樹経営支援等対策事業等により「レモン」「愛媛果試第28号」「甘平」「愛媛果試第48号」の植栽を推進

【成果】

- ・「レモン」苗木：294本植栽
- ・「愛媛果試第28号」苗木：496本植栽
- ・「甘平」苗木：153本植栽
- ・「愛媛果試第48号」苗木：1,300本植栽



縮間伐見本園



口目谷池（改修後）



仙台での販売



南宇和高校生による加工品開発



レモンの植栽

○「ブロッコリー」の産地強化

1 更なる産地拡大に向けた秋から春にかけての作型分散および省力化や軽労働化技術の導入

【取組】

- ①愛南町に有利な春どり栽培について、啓発パンフレットの配布や栽培講習会を開催し、技術の共有化を推進
- ②共同育苗によるセル苗生産と、共同選果共同販売体制の維持、省力農業機械の導入等により、栽培の省力化と規模拡大を推進

【成果】

- ①春どり栽培面積割合：46%（前年比9%増）
- ①春どり栽培に適した品種検討のための実証ほを設置：2品種2か所
- ②3ha超大規模栽培農家：3戸（前年比1戸増）
- ②大型トラクター導入：1人、ライムソワー導入：1人

2 難防除病害対策および排水対策

【取組】

- ①根こぶ病の被害軽減を目的に、土壌への薬剤とおとり作物の同時使用の効果を確認する実証ほを設置
- ②講習会や巡回指導を実施し、排水対策など基本技術の徹底を指導

【成果】

- ①薬剤とおとり作物を同時使用した試験区では、根こぶ病の発病がほとんど見られず、良質な花蕾を収穫
- ①実証ほの結果を受け、根こぶ病対策のために薬剤作条土壌混和機を導入した農家：1戸
- ②平均単収705kg/10aを達成（前年比109%）



目揃え品評会



省力作業機の体験



根こぶ病被害軽減
実証ほの設置



「さといも」を新規導入

○水田の有効利用による地域野菜の生産拡大

1 「なす」「しょうが」「さといも」「スイートコーン」や施設野菜の「青ねぎ」の生産振興

【取組】

- ①水田の有効活用を図るため、少量野菜について、個別巡回を主体に栽培技術、病害虫対策などを指導
- ②法人経営の青ねぎでは、新たな病害虫である「ネギハモグリバエB系統」についての注意喚起と情報提供を実施
- ②「さといも」「スイートコーン」を新規に栽培する農家に対し、安定生産を図るため技術のポイントを指導したほか、特に「さといも」では、早期水稲と労働競合しない新規作目として導入を積極的に推進

【成果】

- ①「なす」栽培面積：37a（前年比84%）
- ①「しょうが」栽培面積：458a（前年比140%）
- ①「青ねぎ」栽培面積：1.5ha（前年比100%）
- ②「さといも」栽培面積：87a（前年比171%）
- ②「スイートコーン」栽培面積：76a（前年比170%）

～地域づくり～

農業・農村を支える多様な担い手を確保・育成するため、関係機関が連携し、研修制度や受入体制の充実・強化を図り、新規就農者や新規参入企業等の定着支援に取り組みます。優良な農地を維持・活用するため、中心経営体や集落営農組織の育成・法人化を進め、地域農業基盤と地域コミュニティの維持を図ります。また、女性の起業活動や農業経営への参画を支援し、次代の地域農業を担う女性農業者を育成します。農業・農村の魅力を活かしたグリーン・ツーリズムやイベント等に取り組み、交流人口の増加と地域の活性化を図ります。

～推進対象や地域づくりの方向～

○新規就農者の確保・定着支援

1 就農希望者の円滑な就農を支援

【取組】

- ・町・JAと連携し、就農希望者との面談を行い、研修や給付金等の制度について説明
- ・就農希望者に対し、農地や機械等を紹介

【成果】

- ・就農相談：16件
- ・新規就農準備研修生：2人
- ・新規就農者：2人



WEBによる就農相談

○新規就農者の確保・定着支援

2 新規就農者の経営開始後の課題解決および営農定着の支援

【取組】

- ①個別巡回を行い、営農・経営状況の把握に努め、栽培技術や経営管理等を指導
- ②自己研鑽や仲間づくり、情報交換の機会となる青年農業者組織の活動として、各種研修会を実施

【成果】

- ①営農状況現地確認：年2回（対象：新規就農者9人）
- ①就農定着率：100%
- ②栽培管理研修会：15回開催（参加者延べ51人）

3 JA等による研修生の受入

【取組】

- ①担い手育成事業を活用し、研修生が就農に向け栽培実習等を行うための研修ほ場の運営を支援
- ②就農準備研修生に対し、栽培技術の習得のため、技術指導等を実施

【成果】

- ①②就農準備研修生：4人
研修後、就農者：2人

4 次世代リーダー育成のための青年農業者組織への加入推進及び組織活動支援

【取組】

- ①新規就農者を対象に青年農業者組織への加入を推進
- ②かんきつ生産者を対象に研修会や勉強会を開催し、知識・技術の研鑽を促進

【成果】

- ①新規会員：2人増加
- ②研修会等：6回開催（参加者延べ52人）



営農状況の現地確認



研修生を対象とした
せん定講習会



基盤整備について関心を持つ
青年農業者



リモートでの講演会



規模拡大のための
経営相談会



集落座談会

○地域を支える多様な担い手の確保・育成

1 補助事業や低利融資の活用、雇用労働力確保対策等を通じた経営体の体質強化

【取組】

- ①町内の農業雇用実態を踏まえた労働力確保対策を協議
- ②農業者を対象とした研修会を企画し、技術向上を促進
- ③愛南町農業支援センターが中心となり、認定農業者等に補助事業や制度資金等の相談会を開催

【成果】

- ①愛媛お手伝いプロジェクトを活用した労働支援体制を整備
有償ボランティア参加人数：延べ39人
- ②認定農業者青年農業者合同研修会の開催：2回（参加者延べ53人）
- ③農業者の資金相談：9回 相談件数：7件

2 規模拡大を目指す経営体への農地集積及び法人化の推進

【取組】

- ①規模拡大を目指す経営体を選定し、営農相談による重点指導を実施
- ②法人化に向けた手続きや経営改善計画の策定を支援
- ③コロナ禍における農産物の新たな販売モデルとして、ECサイトを活用し自分の商品と併せて他の農業者の商品も販売する農業者の取組を支援

【成果】

- ①重点指導対象経営体の選定と経営指導：7戸
- ②法人化に向けた経営相談会の開催：8回 新規法人：1戸
- ③「地域商社的農業者」（モデル農家）1戸、取扱品目の拡大：2品目（農産物、加工品）

3 農地を引き受ける集落営農組織の設立支援

【取組】

- ・集落営農の組織化に向けた支援の実施

【成果】

- ・集落営農検討会の開催：僧都集落3回（参加者延べ23人）

○地域を支える多様な担い手の確保・育成

4 多面的機能を有する農地等の保安全管理に向けた地域ぐるみで取り組む共同活動の支援

【取組】

- ①多面的機能支払交付金の事業を推進し、活動対象面積を維持させ農地や道水路などの保全を推進
- ②中山間地域等直接支払交付金により農業生産活動の継続を支援し、耕作放棄地の発生防止や多面的機能の確保を推進

【成果】

- ①多面的機能支払交付金：386ha（活動組織13）
- ②中山間地域等直接支払交付金：325ha（協定数40）

5 地域で活躍する女性農業者による組織活動の活性化及び経営ノウハウの習得支援

【取組】

- ・各種研修会や視察研修を実施し、農業経営への参画に向けた意識啓発を推進

【成果】

- ・農村女性組織：3組織
- ・研修会等：3回（参加者延べ20人）

6 6次産業化やグリーン・ツーリズムに取り組む個人や組織への支援

【取組】

- ①6次産業化の研修会や視察研修を実施し、加工品の技術や知識に関する研鑽を促進
- ②グリーン・ツーリズムにおける体験活動を通じ、情報発信や消費者との交流を促進

【成果】

- ①6次産業化研修会：8回（参加者延べ25人）
- ②グリーン・ツーリズム体験：11回（参加者延べ175人）



ため池の草刈り



特産品開発研修会



河内晩柑ゼリーづくり体験



サル捕獲檻

○鳥獣害対策の推進

【取組】

- ①各種補助事業を活用した侵入防止柵の設置を推進
- ②銃猟・わな免許取得者の確保
- ③有害鳥獣捕獲を推進

【成果】

- ①防護柵設置：12.2km
- ②新規免許取得者（わな免許取得者）：11人
- ②狩猟者登録数：第一種銃猟49人、第二種銃猟6人、わな90人
- ③有害鳥獣捕獲頭数（1月末）：2,585頭